



2020年10月20日

各 位

会社名 アズマハウス株式会社
代表者名 代表取締役社長 東 行男
(コード：3293 東証ジャスダック)
問合わせ先 取締役 真川 幸範
(TEL.073-475-1018)

業績予想及び配当予想に関するお知らせ

当社は、2020年10月20日に開催の取締役会において、2021年3月期の連結業績予想及び配当予想について、下記のとおり決定しましたのでお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期の連結業績予想

(1) 2021年3月期第2四半期累計期間(2020年4月1日~2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	6,330	475	442	300	74.68
増減額 (B-A)	—	—	—	—	
増減率 (%)	—	—	—	—	
前年同期実績 (2020年3月期第2四半期)	7,202	766	739	490	122.14

(2) 2021年3月期通期(2020年4月1日~2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	13,230	1,100	1,018	650	161.81
増減額 (B-A)	—	—	—	—	
増減率 (%)	—	—	—	—	
前期実績 (2020年3月期)	13,555	1,277	1,227	810	201.84

(3) 連結業績予想について

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年5月28日の決算発表時点では、合理的に判断することが困難であることから未定としておりました。未だ、新型コロナウイルス感染症に伴う経済社会への影響は、依然として不透明であり、このような状況は、当連結会計年度中は継続するものと想定しておりますが、主力とする不動産建設事業におきましては、予断を許さないものの第2四半期には緩やかな回復が見られ、第3四半期以降は悪影響が薄れる方向に進み、事業環境が著しく悪化する可能性が低いものと想定し連結業績予想を算定しました。但し、今後様々な要因によっては実際の業績が予想から変動する可能性があります。

なお、当社グループは経営指標としております、売上高営業利益率については10%、自己資本比率については40%以上とすることを目標としてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を含めた事業環境の変化により、当連結会計年度における目標数値の達成は困難であると判断いたしました。原則として変更はございませんが、環境の変化に柔軟に対応しつつ、更なる企業価値の向上に努めてまいります。

2. 2021年3月期の配当予想

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回発表予想	—	0円	—	—	—
今回修正予想	—	0円	—	70円	70円
当期実績	—	—	—		
前期実績 (2020年3月期)	—	0円	—	70円	70円

当社は、長期的な視野に立ち、会社の業績及び企業体質の強化等を総合的に勘案し、安定的かつ継続的な配当を実施していくことを基本方針としております。

当期の配当金につきましては、当期の連結業績予想を未定としていたことに合わせて、配当も未定としておりましたが、このたび算定した連結業績予想を踏まえ、上記基本方針に基づき、1株当たりの年間配当金につきましては、70円と予定しております。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって配当予想と異なる可能性があります。

以 上